

最上階から吊下げられた下地鉄骨とカーテンウォールの施工報告

Construction report for installation of curtain wall and Steel supporting hanging from the top floor

▶キーワード：超高層，学校，鉄骨，カーテンウォール，吊り材

中筋知行＊
楠浴淳士＊
中島重登＊
齊木健次＊
小久保遼＊

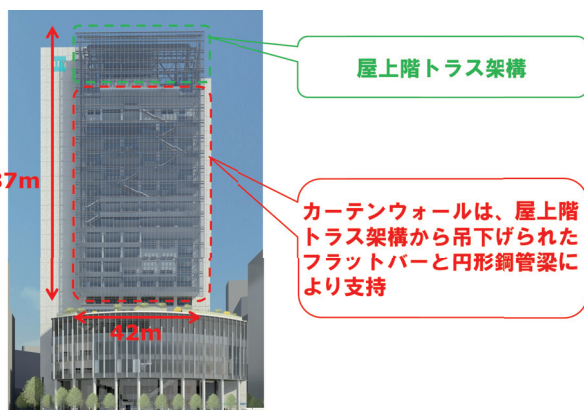
*西日本(支)常翔梅田(出)

概要

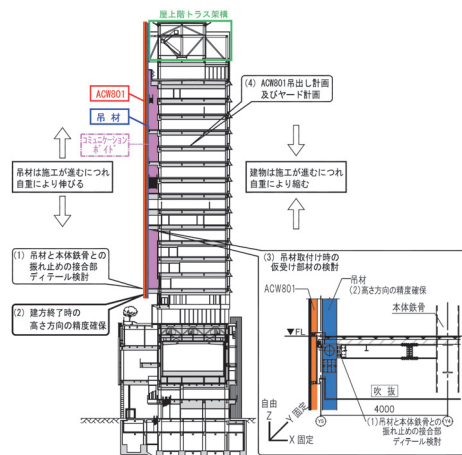
本工事は、地下2階、地上22階建の超高層建築（大学）の建設工事である。外装材として、北面の高層部にはシンボリックな外観をもつアルミニウムカーテンウォール（ACW801）が配置されており、その取付け下地である鉄骨は、屋上の鉄骨から吊下げるといった特徴的な構造部材となっている。本報告書は、ACW801の吊構造に関する施工検討と結果を報告するものである。

成果

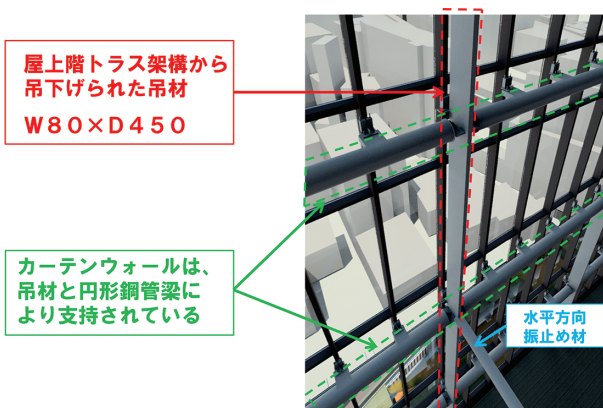
- 吊り材と本体鉄骨の接合部を、地震時の挙動の違いや熱伸び量の差に対応できるディテールとした。
- 吊り材は施工がすすむにつれ伸びていくため、完成時に本体建物と相対差が生じない精度管理を実施した。
- 吊り材は、屋上のハットトラス構造から吊下げられているため、施工時の仮受方法を工夫した。
- カーテンウォールは、上棟後の施工となり他の仕上げ工事と輻輳するため、施工ヤードの確保を工夫した。



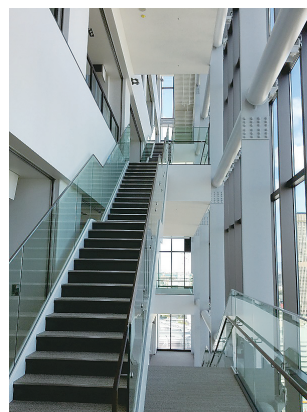
図－1 建物立面図



図－2 課題の抽出



図－3 下地鉄骨（吊り材）



写真－1 内部吹抜け



写真－2 外観